

## 休眠口座国民会議 設立趣意書

### 私達の思い

世界一の速度で進む高齢化。先進国にも関わらず、子どもたちの7人に1人を覆う貧困。経済は沈下し続け、職のない若者たちが就活に絶望し自殺する今の日本社会。一方彼らを救済するだけの財政力は、我が国政府にはない。1000兆もの国債負担と毎年増え続ける社会保障費の捻出に悩まざるを得ない。

しかし、このままで良いのか。このままこぼれゆく人々を座視せざるを得ないのか。否。私達にはまだまだ取りうる政策がある。

日本と同様に社会保障と財政のジレンマで苦しむ先進国、英国や韓国では**休眠預金を活用したマイクロファイナンス**が既に行われている。

**金融の恩恵を受けられない貧困層、資金調達の難しいNPOや社会的企業、復興しようとする被災地の中小企業。**こうした人々に、毛細血管のように小さなお金を貸付け、あるいは出資し、彼らが自ら立ち上がろうとすることを、強力に後押しするのだ。この仕組みは、税を使わない。人々が置き忘れ、そしてそのままに滞留していたお金を、意義ある形で社会に還すのだ。

国を助けて、国を頼らず。

新たなセーフティーネットを、国民の手で創造する時が来たのだ。

### ミッション

1. 預金者の権利を十分に保護しつつ、休眠口座による社会的基金「**休眠口座基金**」を2015年までに設立し、開かれた第三者機関がその運営を行うようになる。
2. 「休眠口座基金」から拠出される毎年数百億の資金を、**奨学金や貧困対策、被災地の企業等、金融弱者のためのマイクロファイナンス等**に活用する。

### ビジョン

- ・どんなに厳しい経済環境にあっても、必ず手が差し伸べられる日本社会